

子連れ出勤の現状のまとめ

ソウ・エクスペリエンス株式会社



数字でみる子連れ出勤

64人

2018年4月末現在のソウ・エクスペリエンスのスタッフ

(フルタイム29人・パートタイム35人、男性22人・女性42人)

8人

出勤する際は必ず子連れのスタッフ

7人

たまに子連れのスタッフ

3~4人

オフィスにいる子供の人数

1~2歳

オフィスにいる子供の年齢

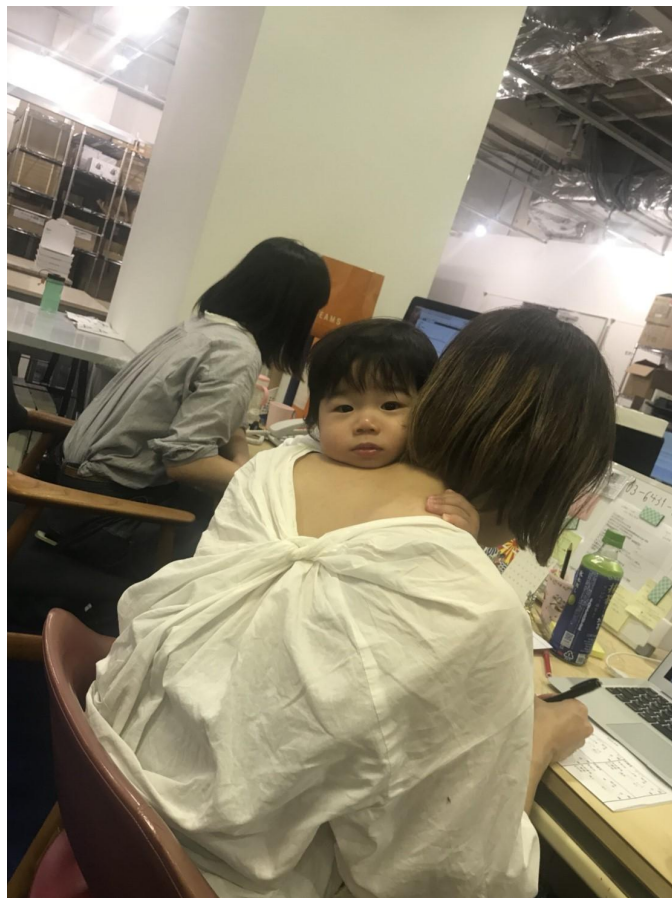
10～16時

子連れスタッフの勤務時間で多いパターン

0人

妊娠・出産を理由に退職したスタッフ

子連れ出勤の日常













大事にしていること

なるべく手間とコストをかけない

やっていること

土足禁止エリアの設置

オフィスの1/3くらいのスペースが土足禁止です。

👤 良いところ

- ・危なくない

- ・清潔

- ・ハイハイできる

👤 良くないところ

- ・出入りが多少面倒

緩衝材の設置

机の角に緩衝材を付けています。

👍 良いところ

・危なくない

👎 良くないところ

・カッコ悪い

みなしお世話時間

パートタイムスタッフの勤務時間を一定割合差し引いて給与計算しています。

👍 良いところ

- ・気兼ねなく子供の面倒が見られる
- ・仕事のメリハリがつく

👎 良くないところ

- ・給与が安くなる

やっていないこと

シッターや保育士の雇用

親が面倒を見るのが原則で、子供を見る専属のスタッフはいません。

👍 良いところ

- ・会社のコストがかからない

👎 良くないところ

- ・親やその他のスタッフの手が止まる

子供専用部屋の設置

なるべく大人と子供が混ざっている状態にしています。

👤 良いところ

- ・会社のコストがかからない
- ・子供を常に誰かが見られる

👤 良くないところ

- ・シリアスな電話だと声が気まずい
- ・静かな場所で作業したい人には✖ ☐

試行錯誤で決まったルール

原則、連れてくるのは3歳まで
(保育園や幼稚園を推奨)

→飽きてしまうため
→特に0～1歳はみんな楽

食べ物は親から

→トラブル防止

どうしても泣き止まない時はお外へ

→さすがに騒々しいので

無理があるならやめよう

→子連れが目的ではない

スタッフの声

子連れスタッフ

子連れ出勤をしているスタッフの声です。

👂 ポジティブ

- ・保育園に預けられなかったのでとても助かっている
- ・家庭外の繋がりができる
- ・家で子供と一対一でいるより冷静に接しられる
- ・大家族で育てているみたい
- ・子供が人見知りしなくなった

👂 ネガティブ

- ・電車通勤はやはり大変
- ・子供が迷惑をかけているのでは、と心配になることがある
- ・きちんと会社に貢献できているか、心配になることがある

非子連れスタッフ

子供を連れてきていないスタッフです。

☺ ポジティブ

- ・オフィスの雰囲気が良い
- ・将来のための訓練になる
- ・優秀な人と長く働ける

☹ ネガティブ

- ・深刻な電話の時は気になる
- ・オフィスが子供にとって良い環境なのか心配はある
- ・教育方針などを知っておきたい

背景

少人数時代から社長が子連れだった

10人の時に女性スタッフが出産で休職、
早期復帰したいスタッフと
早期復帰してほしい会社の相互にメリット

問題なかったので
子連れOKを宣伝して募集したら
大きなコストをかけずに人材募集ができた

好きなことをすべき、
働きたい人は働けるのが
ミッションステートメントと通じる

子連れ出勤の反響

約 100 社

見学会に参加した会社

120人以上

見学会に参加した人数

10 社未満

子連れ出勤を試みた会社
(弊社が把握している限り)

賛否 **たくさん**

「子連れ出勤」を巡るSNSでの意見

子連れ出勤のハードル

通勤時間・手段

→柔軟な勤務時間
→属人化しないワークフロー

組織の理解

→組織のメリットであるという共通理解
→納得感

本当にできるのかという不安

→ メリットを共有しながらの日々の工夫
→ 慣れ

職種

- 外回りの人などは不向き
- 場合によってシッターの雇用も

まとめ

会社は、優秀な人にい続けてもらえる

→出力100%でなくても全然いい

→フィットするか分からない人を

新たに採用する方がコスト

→(本人が希望すれば)早く復帰してもらえる

スタッフは、復帰しやすい
→早く復帰できる
→保育園に預ける前から働ける

お金をかけなくても、
「慣れ」と「工夫」でいろいろ解決できる

「優しさ」ゆえでなく、「厳しさ」ゆえ
利益を出すためのサバイバル術